

くれる市民の方も随分いて、引
つ張ってくれた。そんな経験も
ありまして、その辺が市民と協

「四つのどうぞ」のおもてなし



市長 地域に根づいた女性でな
ければ出てこないアイデア、そ
れがあるように思ったのは、お
茶をどうぞ、お荷物をどうぞ、
いすをどうぞ、トイレをどうぞ
の「四つのどうぞ」(注5)とい
う言葉です。

山崎 それはアイデアではな
く、すでに商店の人たちが個々
のお店でこういうことをやって
いました。いすは小さな丸いす
など何でもお出しして、一服お
茶を飲みましょうという形でお
茶をお出しして、できることを
やっていたのです。それをただ
形にただけです。

市長 ただ、それが恐らく、お
客様には伝わっていないかった。
目に見えるように、はっきり出
す。しかも同じ信号を送るとい
うことですね。

山崎 その通りです。トイレを
とても借りやすくなったとか、
お荷物も預かってもらいやす
くなったと喜ばれました。

全国で皆さんが使ってくださ
ればうれしいと思います。

市長 どうぞと言つたのも、堂
々と声を出していない例が多い
ですよ。

さらに目に見えるようにとい
う意味では、パネルをつくつた
り、旗をつくつたり、シンボル
マークをつくつたり、新しいア
イデアがどんどん膨らんでいる
なという感じがします。

山崎 「アネッサマーク」をつく
るときは、全国公募をして、100

働の行政を進めるとか、まちづ
くりを進めるときのヒントにな
ったと思いました。



▲お店の入口に張ってある「お荷物どうぞ」の表示

近くの応募作品が集まり審査し
ました。

最後まで残ったのが、右の写
真のちよつとやぼつたいおぼち
やんマークと、とてもあか抜け
ていて、すごくスマートなデザ
インのもので、どちらも半々ぐ
らいの方が押されていました。

しかし、私たちが会津弁という
自分たちの言葉で話すことが、
温かい心でもてなすという気持
ちにつながるのではないかとい
うことで、このやぼつたい方の
あねさまマークに決まりました。

市長 このマーク自体も、まさ
にあねさま、「アネッサクラブ」
の無理をしない実情を素直に表
現している感じはありますよ
ね。

あと、ガイドマップもいいも
のをお作りになつていているよ
うです。

山崎 ガイドマップも実は手づ
くりです。今は学生が細かく書
いてくれますが、最初に作つた

ときは、何と消しゴムを削つ
て、ビルはこれ、一軒家は屋根
つきのマークと、芋版のように
ポコポコ押して作りました。今
の地図の半分寂れたような色合
いは、この時のまま残すように
しています。

あとは、大通りを花と緑のス
トリートにしたいと思い、活動
を始めました。ただ花を植える
ということとは、どこでもやつて
いることですよ。私たちは、
そこにプラス、ハーブとケナフ
を植えました。ハーブは、お料
理にも使えますしいい香りがし
ます。入口に入るとき、五感を
刺激しほんのり香りがするとい
う癒しの効果があります。ケナ

市長 いろいろなことが行われ
て、大勢の人が出てくるように
もなつてきた。商店街そのもの
の状況は今、どうという方向に
変わりつつありますが。

自分たちで動いてみよう



山崎 私たち女性の提案を商店
街の男性たちも受け入れ、認め
てくれるようになりました。

私たちは当初、「歩きやすい」
道路を役所に頼んでつくつてほ
しいと思っていました。でも、
「歩みにくい」ばかり言つて

市長 このマーク自体も、まさ
にあねさま、「アネッサクラブ」
の無理をしない実情を素直に表
現している感じはありますよ
ね。



▲まちづくりのヒントを得るために全国から
視察者が来ています(会津若松・大町通り)

フは、空気をきれいにしてくれ
ますし、葉っぱから茎まですべ
て利用できるのです。まさにリサ
イクル、リデュース、リユース
という三つの要素を備えていま
す。

市長 環境にやさしいですね。

山崎 環境に配慮して植えてい
ます。あわせて、育てたケナフ
の種を希望者にプレゼントし、
次の年は種をくださいというこ
とでやっています。

市長 まちづくり、まちおこし
というと、まちの骨格をつくる
とか、道路をどうするかなどの
話が先行してしましますが、ソ
フトの話こそ大切ですよ。

山崎 そうですね。

いないで、自分たちに何がで
るかと考えたとき、まず歩きに
くい道路をきれいにしようと思
え、クリーンデーを設けて、一
斉清掃をしました。

自分たちできれいにしようとい
うことが、活動につながつた
のではないと思います。

市長 居心地はいいし、それを
見て、またお客さまも当然、戻
ってくるということですよ。

山崎 そうですね。まちおこし
のことで視察に来る方は、
経済効果はどのくらいです
かと必ず聞かれますが、私
たちが活動したことが何千
万円プラスになったという
のではなく、私たち女性が
自分の意見を自分の口から
はっきり言えるようになったこ
とと、私たちだけでは
なく、会津の皆さんの頑張
りで、270万人に落ち込んで

いた観光客が、平成16年度は300
万人になり、1万人くらいずつ

共生していくまちづくり



市長 それでは、これからの課
題は何でしょうか。

山崎 やはり皆さんが言われる
ように、経済効果というのは大
事だと思っています。私たちは、ま
ず自分たちが生活しやすい環境
づくりを一番に考えてやってき
たわけですが、今後は、地元の
会津大学と連携して、ITなど
を使った情報発信をして、「ア
ネッサクラブ」に日本全国どこ
からでもアクセスしていただ
き、楽しいことをしているとい
ふのだな、行ってみようと思つて
くれることによって流動人口を
増やしたいです。

それから、家族との共生、ま
ちとの共生、行政との共生、若
い世代との共生ということを考
えていきたいと思っています。さ
らに、共生ということでは、こ
からはユニバーサルデザインの



▲着かざって歩きたくなるまちに(日野本町付近)

増えていますというお話をし
ています。

時代になつて、体の不自由な方
が参加したり、知的障害者の方
々とも一緒に考え、交流する必
要があると思います。

何か加えればこうなる、ここ
のところをこつこつに直せ
ばということ、私たちは今ま
での活動をやってきました。ま
ず話してみる。それが大きく花
開く。皆さんを否定しないとい
うことだと思っていますね。そう
すると、自分たちの仕事も生き
がただけ、アネッサクラブの活

さあ始めてみよう



市長 お話を伺つて、地域に今
あるものを、ちよつと視点を
変えて見直しをして、やさしく提
供し、PRしていくという、こ
のアネッサクラブの視点は、日
野宿通りの再生など、これから
の日野のまちづくりにおけるソ
フト面のあり方にも随分参考に
なる部分があると思いました。

特に、「女性の視点」と構えない
で、何かそのままやっている
ところや応援団もどうぞとい
つて、一緒に巻き込んでやって
まうところが、とてもいいと思
いました。

様々な角度から、「あねさま」
たちのまちおこしということ
で、女性の視点だけにとらわれ
ず、それが全体のまちを変えて
いく。特にソフト面の大事さ、
日ごろやっていることを、別な

注5 4つのどうぞ運動
「お茶をどうぞ」「お荷物を
どうぞ(おあすかりしま
す)」「いすをどうぞ(お休
みください)」「トイレをど
うぞ(お使いください)」
の4つであり、来訪者に対
する心遣いの推進である。

市長 地域を大事にしようと、
やつぱり何かを掘り起こさな
ければいけない。でも、掘り起
こすにしても、難しい本を読め
ば出てくるのでは、あまり意味
がないので、だれも見られる、
ああ、そうなのかということが
多くの人にわかるような仕掛け
というのは必要ですよ。

角度で提示していくことの大事
さなどを教えていただきまし
た。

初めに申し上げましたが、会
津若松と日野は、新選組を中心
にした関係があつて、会津若松
ほどではありませんが、日野も
宿場の長い歴史があり、一生懸
命掘り起しをして、今によみが
えらせたいと思っています。

今日のお話を参考にさせてい
ただき、女性のパワーを引き出
しながらこれからの地域の活
性化に励んでいきたいと思つて
います。

日野市にとつても、有意義な
お話ができました。心から御礼
申し上げます。ありがとござ
いました。

山崎 ありがとございまし
た。